

まちの暮らしを支える団体紹介

名称 (グループ名)	笠松町消防団	整理番号	34
所属人数	約120名		
主な活動と具体的内容 (活動日・場所)	○消防団は、消防組織法により設置される町の消防機関で、団員の身分は非常勤特別職の地方公務員です。通常は各自の職業に従事しながら火災等の災害が発生したとき「自らの地域は自らの力で守る」という郷土愛護の精神にもとづき、その都度招集され活動します。消防団は消防署からは独立し、地域の推薦によって選出された人々から組織されています。消防署の常備化が進展している今日においても、消防団が地域の消防防災において果たす役割はきわめて重要です。		
活動紹介 (自由記載、写真貼付可)	○消防団の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・震災・水害時などに、地域の防災力の中心・中核として消防署と連携しながら消火・救助等の活動を行います。大規模災害時等には多くの消防団員が出動し、地域住民の生活を守るために大きな役割を果たしています。 ・日常においては火災予防活動を行うとともに、火災予防の呼び掛け、訓練を行ったりして住民生活に密着した活動をします。 (主な活動例) 防火パレード 毎年3月、11月 川まつり花火警備 毎年8月15日 年末夜警 毎年12月28日～30日 ○消防団の充実強化・活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災活動を行うには専門的な知識と技術が必要です。消防団は、操法訓練や応急救護訓練を通じて日ごろから有事に備えて万全の体制を整えています。 (主な活動例) 消防団入団式(毎年4月) 消防出初式(毎年1月) 操法大会 消防団機動訓練 ・各自主防災会の自主防火訓練の指導者として、防火意識の向上に努めています。 		
メッセージ	○お願い：消防団の方々は地域と住民を守るため、平日頃から訓練を重ね、いざ災害が起きた時には、地域のリーダーとして活動しますので、消防団活動には、ご協力ください。		



＜出初式本町パレードのようす＞



＜操法大会のようす＞